2006年12月9日
日本英語文化学会（於：駒澤大学）

最近のシェイクスピア事典を巡って

佐々木隆（武蔵野学院大学）

０１　事典、辞典、字典、案内
encyclopedia, handbook, companion, guidebook, guide, A to Z

０２　おもな事典・辞典（邦文）

日本シェイクスピア協会編『シェイクスピア案内』研究社、1964 年 12 月

小津次郎編『シェイクスピア・ハンドブック』南雲堂、1969 年 11 月

倉橋健編『シェイクスピア辞典』東京堂出版、1972 年 8 月

福田恆存監修『シェイクスピア　ハンドブック』三省堂、1987 年 9 月

高橋康也編『シェイクスピア・ハンドブック』新書館、1994 年 12 月

小津次郎編『シェイクスピア作品鑑賞事典』南雲堂、1997 年 5 月

ケネル，ジョンソン／荒木正純訳『シェイクスピア人名事典』東洋書林、1997 年 11 月

高橋康也，大場建治，喜志哲雄，村上淑郎編『研究社シェイクスピア辞典』研究社、2000 年 11 月

伊形洋『シェイクスピア作品・人物事典』研究社、2002 年 3 月

荒井良雄、大場建治、川崎淳之助編『シェイクスピア大事典』日本図書センター、2002 年 10 月

ダントン＝ダウナー、ライディング／水谷八也・水谷利美訳『シェイクスピア・ヴィジュアル事典』新樹
　　社、2006 年 2 月

０３　おもな事典・辞典（英文）（who's who は除く）

Campbell, Oscar James, and Quinn, E. O., editors.　*The Reader's Encyclopedia of Shakespeare.*
　　Tokyo:　Toppan, Crowell, 1966.

Wells, Stanley, editor.　*The Cambridge Companion to Shakespeare Studies.*　1986.

Fox, Levi, editor.　*The Shakespeare Handbook.*　1987.

Boyce, Charles, editor.　*Shakespeare A to Z.*　New York and Oxford:　Roundtable Press, 1990.

McDonald, Russ.　*The Bedford Companion to Shakespeare.*　Boston, New York:　Bedford/St.
　　Martin's, 2001.

Wells, Stanley and Orlin, Lena Cowen.　*An Oxford Shakespeare: Guide.*　Oxford:　Oxford
　　University Press, 2003.

Dunton-Downer, Leslie and Riding, Alan.　*Essential Shakespeare Handbook.*　London:　Dorling
　　Kindersley Limited, 2004.

Dickson, Andrew.　*The Rough Guide to Shakespeare.*　New York:　Rough Guides Ltd., 2005.

04 おもなシェイクスピア事典類の概要一覧

編集者等	事典・辞典名	年月日	編集方針	日本	web	備考
日本シェイクスピア協会	シェイクスピア案内	1964.12	項目主義	○	×	日高八郎「シェイクスピアと日本」
小津次郎	シェイクスピア・ハンドブック	1969.11	項目主義	×	×	参考文献に翻訳は掲載
倉橋健	シェイクスピア辞典	1972.08	五十音順	○	×	日本におけるシェイクスピア
福田恆存	シェイクスピア　ハンドブック	1987.09	項目主義	×	×	参考文献「日本おける翻訳」は掲載
高橋康也	シェイクスピア・ハンドブック	1994.12	五十音順	○	×	「黒澤明」「翻案」「日本語翻訳」
小津次郎	シェイクスピア作品鑑賞事典	1997.05	項目主義	×	×	1969.11の改題増補版
高橋康也	研究社シェイクスピア辞典	2000.11	五十音順	○	○	「日本」「蜷川幸雄」「坪内逍遙」等
荒井良雄	シェイクスピア大事典	2002.01	項目主義	○	○	「日本のシェイクスピア」／「21世紀のシェイクスピア」

編集者等	事典・辞典名	年月日	編集方針	日本	web	備考
Campbell, Qquinn	The Reader's Encyclopedia of Shakespeare	1966	ABC順	○	×	Japan
Wells	The Cambridge Companion to Shakespeare Studies	1986	項目主義	△	×	Shakespeare on film and television の中で黒澤明に言及
Fox	The Shakespeare Handbook	1987	項目主義	△	×	Shakespeare on filmの中で黒澤明に言及
Boyce	Shakespeare A to Z	1990	ABC順	○	×	Kurosawa, Akira
McDonald	The Bedford Companion to Shakespeare	2001	項目主義	△	○	黒澤明等への言及。Shakespeare Resources o the Web
Wells	An Oxford Shakespeare: Guide	2003	項目主義	○	○	Commemorating Shakespeareの中でJAPANの項目を設けている。Internet and CD ROM resources
Dunton-Downer	Essential Shakesepare Handbook	2004	項目主義	△	×	Global Shakespeareの中で言及
Dickson	The Rough Guide to Shakespeare	2005	項目主義	△	○	Kurosawa Akira, Ninagawa Yukio等に言及している。Websites

○印は見出し語、あるいは項目があるもの。掲載内容は備考を参照。
△印は見出し語、あるいは項目にも取り上げられていないが、説明の中で言及されている場合。
　例えば、「黒澤明」という見出し語・項目はないが、「映画」の中で「黒澤明」に言及しているような場合。
×印は取り扱いがないもの。

シェイクスピア映画だけを扱った事典類などもあるが、今回は全体的な視点からの考察となるため、リストより除外した。
また、*Edward III*や*The Two Noble Kinsmen*の取り扱い方も事典類により差異があるが、今回の発表では取り扱わない。

酒井忠恕訳『仏国歩兵陣中要務実地演習軌道典』、1986 年
　　＊reseiments の訳語として「情報」の用語が使われる。
上田敏「沙翁書史」（『学鐙』第 7 年臨時号、丸善）、1903 年
偶来生「沙翁書史」（『学鐙』第 9 年 10 号、丸善）、1905 年
坪内逍遙「沙翁劇に関する雑筆三篇」（『逍遙選集』第 5 巻、春陽堂）、1927 年
日本シェイクスピア協会設立（第 1 次）、1930 年
山口武美・市河三喜共編「日本シェイクスピア書誌」（『英語研究』第 23 巻第 12 号〜第 24 巻第 10 号）、
　　1930 年〜1932 年
Toyoda, Minoru.　*Shakespeare in Japan*　(Iwanami Shoten)、1940 年

クロード・シャノン、一般通信情報理論を発表、1949 年
山本二郎編「シェークスピヤ書誌」/加藤長治編「シェークスピヤ劇上演年表」（日本演劇協会編『シェイ
　　クスピヤ研究』中央公論社）、1949 年
日本図書館学会設立（1998 年に名称変更）、1953 年
Ohio College Library Center 発足。（現在の Online Computer Library Center）世界最大の書誌ユーテ
　　ィリティ。1967 年
L. A. テッド／田口瑛子・吉田貞夫訳『コンピュータ・ベースの図書館システム入門』（法律文化社）、1979
　　年
国立国会図書館、和図書データベース作成に着手。JAPAN/MARC は頒布開始。1981 年
The Electronic Library 創刊（米国）、1983 年
為房裕子，中島厚子編『日本におけるシェイクスピア書誌』（女子聖学院短期大学）、1984 年
　　＊研究書誌、翻訳書誌、研究論文等を収載。
坂本徹郎『図書館とコンピュータ』（日本図書館協会）、1985 年
●文部省学術情報センター(NACSIS)発足。1986 年
国立国会図書館、J-BISC 刊行。（JAPAN/MARC の CD-ROM 版。制作発売は日本図書館協会）1988 年
佐々木隆編『日本のシェイクスピア』（エルピス）、1988 年
　　＊研究書誌、翻訳書誌、上演年表等を収載。
オックスフォード版シェイクスピア全集(Electronic edition. FD 版)、1989 年
Shuman, B. A.　*The Library of the Future:　Alternative Scenarios for the Information Profession*
　　(Library Unlimited)、1989 年
図書館問題研究会『公共図書館におけるコンピュータ導入の現状と問題点』（日外アソシエーツ）、1988 年
電子図書館研究会設立。1988 年
原田勝『図書館／情報ネットワーク論』（勁草書房）、1990 年
佐々木隆編『日本シェイクスピア総覧』エルピス、1990 年
　　＊研究書誌、翻訳書誌、上演年表等を収載。
全国学校図書館協議会編『学校図書館へのコンピュータ導入』（全国学校図書館協議会）、1990 年
根岸正光他編『図書館システムの将来像――密結合型図書館ネットワークと電子図書館』（紀伊国屋書店）、
　　1991 年
●ヨーロッパ原子核共同研究所(CERN)が World Wide Web を開発。1991 年
日本で情報文化学会設立、1992 年
文部省学術情報センターがインターネット・バックボーン SINET の運用を開始。1992 年

●日本で商用ネットワークサービスが開始される。1992 年

郵政省による電子図書館開発支援開始、1993 年

国立国会図書館、NDL CD-ROM Line 頒布開始。(雑誌記事索引カレント版)、1994 年

桂啓壮「インターネット時代の図書館」(『現代の図書館』第 32 巻第 4 号)、1994 年

長尾真『電子図書館』(岩波書店)、1994 年

原田勝「電子図書館とは何か」(『人文学と情報処理』第 9 号)、1995 年

加藤行夫・境野直樹「インターネットと文学研究」(『英語青年』第 141 巻第 3 号)、1995 年

岡田毅「インターネットを利用した英語学研究」(『英語青年』第 141 巻第 5 号)、1995 年

佐々木隆編『日本シェイクスピア総覧 2』(エルピス)、1995 年

　　＊研究書誌、翻訳書誌、上演年表等を収載。

●国立国会図書館ホームページを公開、1996 年

学術審議会「大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について(建議)」、1996 年

日本薬学図書館協議会『薬学図書館』編集委員会編『電子図書館とマルチメディア・ネットワーク』(日
　　本図書館協会)、1996 年

★日本シェイクスピア学会　学会セミナー「コンピュータとシェイクスピア研究」(境野直樹＝コーディ
　　ネーター)、1996 年

Salomone, Ronald E., and Davis, James E., editors. *Teaching Shakespeare into the Twenty-
　　First Century* (Ohio University Press), 1996 年

　　＊マルチメディアを利用したシェイクスピア研究に関する論文を所収。

文部省学術情報センター (NACSIS)、登録利用者に本格サービスを提供開始。(電子図書館サービス
　　NACSIS-Electronic Library Service)、1997 年

●国立国会図書館、和図書オンライン閲覧目録(OPAC)提供開始。1997 年

藤野幸雄他『図書館情報学入門』(有斐閣)、1997 年

★有馬哲生「電子メディアによる文学研究の新展開(1)サイバースペースのシェイクスピア――デジタ
　　ル化されるシェイクスピア研究」(『英語青年』第 142 巻第 10 号)、1997 年

石木利明「英米文学研究のためのインターネット」(『英語青年』第 142 巻第 10 号)、1997 年

日本図書館情報学会(旧・日本図書館学会の名称変更)、1998 年

榎本正樹『文学するコンピュータ』(彩流社)、1998 年

『本の話』(特集：コンピュータと本の世界)(文藝春秋)、1998 年

★加藤行夫「サイバースペースのシェイクスピア」(『英語青年』第 144 巻第 13 号)、1998 年

伊藤民雄「インターネットと書誌情報」(『図書館雑誌』第 92 巻第 9 号)、1998 年

国立国会図書館「国立国会図書館電子図書館構想」発表、1998 年

高橋康也監修／佐々木隆編『シェイクスピア研究資料集成』(別巻 1・2)(日本図書センター)、1998 年

　　＊研究書誌、翻訳書誌、上演年表等を収載。

★日本シェイクスピア協会ホームページ正式公開。1999 年

国立国会図書館編『出版文化と図書館――デジタル時代の知の行方――』日本図書館協会、1999 年

『学術図書館』(特集：学校図書館の情報化をどうすすめるか)(第 583 号)、1999 年

ジュリアン・ウォーナー／高山正也・柳与志夫監訳『本とコンピュータを結ぶ』(勁草書房)、1999 年

原田勝・田屋裕之編『電子図書館』(勁草書房)、1999 年

★境野直樹「学会とネットワーク」(*Shakespeare News*, Vol. XXXIX No. 2)、1999 年

伊藤民雄「インターネットと書誌情報――新聞・雑誌編」(『図書館雑誌』第 93 巻第 6 号)、1999 年

国立国会図書館、和図書 200 万件、洋図書 20 万件の書誌情報を提供する Web-OPAC をインターネット上で

公開。2000 年

国立国会図書館、CD-ROM 等のパッケージ電子出版物の正式納本開始。2000 年

国立情報学研究所(NII)設立。2000 年

日本図書館情報学会研究委員会編『電子図書館』(勉誠出版) 2001 年

●国立国会図書館、雑誌記事索引を NDL-OPAC で全件提供開始、2002 年

ホーキンス、バッティン／三浦逸雄編『デジタル時代の大学と図書館』玉川大学出版部、2002 年

『研究社シェイクスピア辞典』(CD-ROM)(研究社)、2002 年

Clark, Sandora(境野直樹訳)・浜名恵美「マルチメディアとシェイクスピアとグローバル化」(荒井良雄・
大場建治・川崎淳之助編『シェイクスピア大事典』(日本図書センター)、2002 年

●国立国会図書館、一般登録利用者のインターネット経由遠隔利用サービス開始、2002 年

『シェイクスピア大全』(CD-ROM)(新潮社)、2003 年

＊180 本の翻訳と The New Arden 版の原文が収録されている。

根本彰監修／堀川照代・中村百合子編『インターネット時代の学校図書館』(東京電機大学出版局)、2003
年

『英語青年』(特集：インターネット 10 年)(第 150 巻第 10 号)、2005 年

『図書館雑誌』(特集：Web による図書館サービスの可能性を探る)(第 99 巻第 2 号)、2005 年

佐々木隆『日本シェイクスピア総覧　天保 11 年――平成 14 年』(CD-ROM)(エルピス)
＊研究書誌、翻訳書誌、上演年表等を収載。2005 年

●インターネット関係　★シェイクスピアとインターネット

McDonald, Russ. *The Bedford Companion to Shakespeare* (Boston, New York: Bedford/St.Martin's, 2001), pp.422-426

APPENDIX

Shakespeare Resources on the Web

The following sites will provide you with a wealth of material about Shakespeare. (These sites are included in the "Links" section of the Bedford Shakespeare Series site at www.bedfordstmartins.com/litreprints.)

STARTING POINTS FOR SHAKESPEARE INTERNET SEARCHES

Mr. William Shakespeare and the Internet
http://daphne.palomar.edu/shakespeare/
Terry Gray at Palomar College created this annotated guide to Shakespeare resources available on the Internet. This enormous site provides Shakespeare biographies, information about Elizabethan theaters, and excellent guides to finding secondary sources on Shakespeare on the Web. Among the many links worth investigating are the "Shakespeare Timeline" and the "Shakespeare Genealogy." Gray also lists links to sites and study guides on specific plays and to scholarly articles available online.

Shakespeare Resource Center
http://www.bardweb.net
This site, designed by J. M. Pressley, provides a brief biography of Shakespeare, a short essay on Shakespeare's works, synopses of the major plays, the text of Shakespeare's will, a summary of the Elizabethan era, a commentary on Shakespeare's language, a reading list, and links to related sites.

Surfing with the Bard
http://www.ulen.com/shakespeare
Amy Ulen's "Shakespeare Classroom on the Internet" includes lesson plans for teaching Shakespeare, "Shakespeare 101" (an introduction to studying Shakespeare's plays), a study guide for *A Midsummer Night's Dream*, a photo album of BBC costumes, links to other resources, and even a page on Shakespearean references in *Star Trek*.

The Furness Shakespeare Library at the University of Pennsylvania
http://www.library.upenn.edu/etext/furness
Selected resources from the Furness Library's extensive collection of primary and secondary sources have been scanned and mounted on the Web site. Browse through digital facsimiles of texts and images and try out the interesting split-screen feature that allows you to view two documents at once for comparison.

The Folger Shakespeare Library, Washington, D.C.
http://www.folger.edu/welcome.htm
The Folger holds the world's largest collection of Shakespeare's printed works and is a major center for scholarly research. Find out about the library and its museums, upcoming public events (such as theater productions and poetry readings), and academic resources.

THE LIFE OF SHAKESPEARE

The Shakespeare Birthplace Trust
http://www.shakespeare.org.uk
Take a look at houses associated with Shakespeare and his family and read about their histories. The "About Shakespeare" section covers his life, family history, schooling, and hometown of Stratford.

Shakespeare's School
http://homepages.nationwideisp.net/~gsa/welcome.htm
Learn more about King Edward VI School in Stratford-upon-Avon and the education of boys in Elizabethan England.

Shakespeare's Life and Times
http://www.uvic.ca/shakespeare/Library/SLT/
Michael Best's extensive Web site is a valuable resource for information on Shakespeare's life and on many aspects of the era in which Shakespeare wrote, such as the stage, society, history, politics, ideas, drama, literature, music, and art. There is also interesting coverage of Elizabethan English, including brief sound recordings of passages from *Henry IV, Part 1* and *Julius Caesar* that illustrate Elizabethan pronunciation.

THE AUTHORSHIP DEBATE

The Shakespeare Authorship Page
http://www.clark.net/pub/tross/ws/will.html
"Dedicated to the proposition that Shakespeare wrote Shakespeare," this site provides scholarly articles and essays contending that William Shakespeare of Stratford was the author of the plays.

The Shakespeare Oxford Society
http://www.shakespeare-oxford.com/
The articles on this Web site support the theory that Edward de Vere, seventeenth earl of Oxford, was the author of Shakespeare's works.

The Shakespeare Mystery by PBS Online and WGBH/Frontline
http://www.pbs.org/wgbh/pages/frontline/shakespeare/index.html
For a more impartial presentation of the authorship question, take a look at this site based on a recent *Frontline* program. Find viewer responses to the show, a reading list, updates from both sides of the argument, and recent debates.

PERFORMANCES AND THEATERS

Shakespeare's Globe Research Database
http://www.reading.ac.uk/globe/
This database contains photos, drawings, research bulletins, articles, and reports on Shakespeare in performance. There are extensive sections on the history and archaeology of the Old Globe and the design and building of the New Globe as well as a virtual tour of the New Globe with detailed information on the reconstruction.

Shakespeare Examined through Performance
http://www.tamut.edu/english/folgerhp/folgerhp.htm
The "Shakespeare Performance Recipe Book" contains a variety of performance exercises developed by participants in a 1995–96 Folger Institute session and is a good resource for those interested in teaching and staging Shakespeare.

The Interactive Shakespeare Project, College of the Holy Cross
http://sterling.holycross.edu/departments/theatre/projects/isp/measure/teachguide/intro.html
This online study guide for *Measure for Measure* offers a glossed, annotated text of the play, a teacher's guide, essays, performance exercises, photos, video clips, and a virtual tour of Shakespeare's Globe.

Shakespeare's Texts

MIT Shakespeare Homepage
http://tech-two.mit.edu/Shakespeare/
Billing itself as "the Web's first edition of the Complete Works of William Shakespeare," this site presents the full text of Shakespeare's plays in an easy-to-navigate format.

The Works of the Bard
http://www.gh.cs.su.oz.au/~matty/Shakespeare/Shakespeare.html
This Complete Works site also features a glossary and a great Shakespeare search engine. (You can type in a particular phrase from a poem or play, and the engine will locate the source.)

Internet Shakespeare Editions
http://web.uvic.ca/shakespeare/index.html
1SE's growing site offers annotated, old-spelling transcriptions of the plays.

Cultural and Historical Sites

Shakespeare Illustrated
http://www.cc.emory.edu/ENGLISH/classes/Shakespeare_Illustrated/Shakespeare.html
Offering a cross-disciplinary approach to Shakespeare, this site examines nineteenth-century paintings and performances of Shakespeare's plays and their influence upon each other.

Royalty of England
http://www.peak.org/shrewsbury/SHOH/
This page, part of the Shrewsbury Renaissance Faire site, provides a chrono-logical bloodline of the British monarchy, a map of the British Isles in 1595, a chart of currency values in Elizabethan England, and links to resources on Renaissance England.

A Sample of Course Web Sites

(See "Best Educational Sites" at *Mr. William Shakespeare and the Internet* for a more complete list.)

New Approaches to Renaissance Studies
http://www.english.upenn.edu/~bushnell/english-330
Rebecca Bushnell's Web site for English 330 contains a gallery of images relevant to the course.

Bardology: Introduction to Shakespeare
http://www.english.wayne.edu/~aune
Designed by Mark Aune, this Web site offers outlines of lectures on selected topics such as "Gender and Family in Early Modern England," tips on reading Shakespeare and on writing about Shakespeare, and a filmography.

Shakespeare by Individual Studies
http://www.engl.uvic.ca/Faculty/MBHomePage/ISShakespeare/Index.html
Michael Best's virtual course relies on multimedia and computer interaction — instead of lectures — to educate students about Shakespeare.

The Shakespeare Classroom
http://www.jetlink.net/~massij/shakes/
J. M. Massi's Web site contains teaching materials, answers to Shakespeare FAQs, a list of film versions of Shakespeare's plays, and links to other Shakespeare resources.

Surfing with the Bard
http://www.ulen.com/shakespeare
See page 423 for more information about this site.

SHAKESPEARE JOURNALS

Early Modern Literary Studies ·
http://purl.oclc.org/emls/emlshome.html
Available here are full-text articles and reviews from this online scholarly journal of English language and literature of the sixteenth and seventeenth centuries.

Shakespeare Magazine Online
http:http://www.shakespearemag.com/
Only selected articles from this magazine for teachers and Shakespeare enthusiasts are available online, but the "News on the Rialto" section offers current information about Shakespeare events, including performances, films, conferences, and lectures.

Wells, Stanley, and Orlin, Lena Cowen. *An Oxford Shakespeare: Guide.* (Oxford: Oxford University Press, 2003), pp.673-687

FURTHER READING

Some of these readings deal with the theory of hypertext and the Internet; for additional sites of relevance to Shakespeare studies, visit the site maintained in support of this chapter at <http://www.uvic.ca/shakespeare/Library/guide.html>.

Bolter, Jay David. *Writing Space: The Computer, Hypertext, and the History of Writing* (Hillsdale, NJ: Lawrence Erlbaum Associates, 1991). A classic introduction to hypertext in theory and practice.

Early Modern Culture: An Electronic Seminar. E-journal, eds. Crystal Bartolovich and David Siar, 2001 <http://eserver.org/emc/>. An electronic space for discussions of academic research in progress.

Ess, Charles. 'We are the Borg: the Web as Agent of Assimilation or Cultural Renaissance?' *PhilTech* (October 2000). <http://www.ephilosopher.com/120100/philtech/philtech.htm>. Challenges the view that the Internet is creating an ideal 'global village' by pointing out the ways in which the electronic discourse as it is currently constituted threatens to embody a kind of ' "McWorld", a global but homogeneous culture, one resulting from the inexorable power of a Western, democratizing technology wiring the planet and reshaping all human cultures along a single set of cultural values and communicative preferences'.

Farrow, James Matthew. *The Works of the Bard* (Sydney: Department of Computer Science, University of Sydney, 1993). <http://www.cs.usyd.edu.au/~matty/Shakespeare/>. The strength of this site is its searching capability, which allows for sophisticated combination searches, once you learn to use the symbols.

Foster, Donald. 'A Romance of Electronic Scholarship, with the True and Lamentable Tragedies of *Hamlet, Prince of Denmark*. Part 1: The Words'. *EMLS* 3.3 / Special Issue 2 (January, 1998): 5.1–42. <http://www.shu.ac.uk/emls/03-3/fostshak.html>. An example of criticism which uses the resources of electronic text, in this case to explore textual problems and indeterminacies in the variant first printed versions of *Hamlet*.

Isser, Edward *et al. The Interactive Shakespeare Project*. 'Study Guide for *Measure for Measure*'. College of the Holy Cross: Worcester, MA, 1998–1999. <http://sterling.holycross.edu/departments/theatre/projects/isp/measure/mainmenu.html>. An excellent example of what the electronic multimedia text/classroom can offer. The site provides a modern, annotated edition of the play, extensive reviews of performance, some movie clips, and current critical discussions.

Landow, George P. (ed.), *Hyper / Text / Theory* (Baltimore, MD: Johns Hopkins University Press, 1994). A collection of essays that explores the intersection between the electronic media and recent literary theory.

Michigan Early Modern English Materials. Compiled by Richard W. Bailey *et al.* (Ann Arbor, MI: University of Michigan, Humanities Text Initiative, 1992–94). <http://www.hti.umich.edu/m/memem/index.html>. Allows for searches on the materials generated for the Oxford English Dictionary, principally the verbs, though other words will be seen in context.

Renascence Editions. General ed. Richard Bear. Eugene, OR: University of Oregon, 1994–2001. <http://darkwing.uoregon.edu/~rbear/ren.htm>. Offers a wide range of works between 1477 and 1799 by both major and minor writers; well-represented authors include Milton, Spenser, Sidney, and the prolific Anonymous.

Smith, Alastair G. 'Testing the Surf: Criteria for Evaluating Internet Information Resources'. *The Public-Access Computer Systems Review*, 8.3 (1997). <http://info.lib.uh.edu/pr/v8/n3/smit8n3.html>. Provides additional helpful suggestions for separating reliable sites from the rest.

SITES AND REFERENCES

An up-to-date listing of sites and references will be found on the site maintained in support of this chapter at <http://www.uvic.ca/shakespeare/Library/Criticism/guide.html>.

Arden Shakespeare CD ROM. Thomas Nelson, 1997. Contains the Arden 2 critical edition of Shakespeare, supplemented by reference and supporting materials: facsimiles, sources, and bibliography.

Best, Michael. 'Shakespeare's Life and Times'. *Internet Shakespeare Editions*. Victoria, BC: University of Victoria, 1996–2001. <http://www.uvic.ca/shakespeare/Library/SLT/>.

Bradley, A. C. *Shakespearean Tragedy: Lectures on 'Hamlet', 'Othello', 'King Lear', 'Macbeth'*. 2nd edn. (London: Macmillan, 1905). *Shakespeare Navigators*. 29 Aug. 2001 <http://www.clicknotes.com/bradley>.

Britannica.com. The electronic version of the *Encyclopædia Britannica*. Chicago, IL, 2001. Much information is freely available; subscriptions provide additional services.

Brown University Women Writers Project. Director, Julia Flanders. Brown University, Providence, RI, 2001. <http://www.wwp.brown.edu/wwp_home.html>. A long-term research project devoted to early modern women's writing and electronic text encoding. Access by subscription only.

de Grazia, Margreta. 'Hamlet's Thoughts and Antics'. Draft version. *Early Modern Culture*. 2001. <http://eserver.org/emc/1–2/degrazia.html>.

Early Modern Literary Studies (EMLS). ed. Lisa Hopkins. Sheffield: Sheffield Hallam University, 1995–2001. <http://purl.oclc.org/emls/emlshome.html>.

Editions and Adaptations of Shakespeare. CD ROM and Internet site available by subscription. Executive eds. Anne Barton and John Kerrigan. Chadwyck-Healey: Bell & Howell Information and Learning Company, 1997–2000. Contains editions and adaptations from the First Folio (1623) to the late nineteenth century.

EEBO (Early English Books Online). University of Michigan, Oxford University, Council on Library and Information Resources, and ProQuest Information and Learning, 2001. <http://wwwlib.umi.com/eebo>.

Elizabethan Homilies 1623. ed. Ian Lancashire. *RET Editions* 1.2. 1994, 1997. <http://www.library.utoronto.ca/utel/ret/homilies/elizhom.html>.

Folger Shakespeare Library. 'Home Page' (Washington, DC: 2001). <http://www.folger.edu>.

Furness Library. 'Home Page'. Philadelphia: Schoenberg Center for Text and Image, University of Pennsylvania, 2001. <http://www.library.upenn.edu/etext/furness>.

Hamlet on the Ramparts. Peter S. Donaldson, Director (MIT and the Folger Shakespeare Library, Accessed August 2001). <http://shea.mit.edu/ramparts2000/index.htm>. A full multimedia exploration of *Hamlet*; includes the opportunity to compare editions, to view film clips, and to explore lesson plans and tutorials.

Internet Shakespeare Editions. 'Old-spelling Texts: Transcriptions'. Coordinating ed. Michael Best (Victoria, BC: University of Victoria, 1996–2001). <http://www.uvic.ca/shakespeare>. Facsimiles of Folios 1–4 are available from the same site.

Iter: Gateway to the Middle Ages and Renaissance. University of Toronto: 1997–2001. Updated daily. <http://iter.library.utoronto.ca/iter/index.htm>. Access by subscription only.

Kathman, David, and Terry Ross. *The Shakespeare Authorship Page*. Accessed 28 August 2001. <http://www.clark.net/pub/tross/>.

Lancashire, Ian (ed.). *Early Modern English Dictionaries Database (EMEDD)* (Toronto: University of Toronto, 1999). <http://www.chass.utoronto.ca/english/emed/emedd.html>.

Literature On Line (LION). Chadwyck-Healey (ProQuest Information and Learning Company), 1996–2001. <http://lion.chadwyck.com/>. Access by subscription only.

Renaissance Forum: an Electronic Journal of Early-Modern Literary and Historical Studies. ed. Andrew Butler. Hull: University of Hull, 1996–2001. <http://www.hull.ac.uk/Hull/EL_Web/renforum/index.html>.

RET (Renaissance Electronic Texts). General ed. Ian Lancashire (Toronto: University of Toronto Library, 1997).<http://www.library.utoronto.ca/utel/ret/ret.html>.

Shakespeare Birthplace Trust. 'Home Page' (Stratford: 2001). <http://www.shakespeare.org.uk>.

Shakespeare, William. *King Lear: Text, Performance*. CD ROM. ed. Jackie Bratton and Christie Carson (Cambridge: Cambridge University Press, 2001).

Society for Creative Anachronism. 'Home Page' (Society for Creative Anachronism, Inc.: 1996–2001). <http://www.sca.org>.

Vincent, T. *Passages and Quotes Relating to Justices of the Peace in 16th and 17th Century England*. Source: *The Country Justice*, by Michael Dalton, from a facsimile of the 1655 edition. <http://www.commonlaw.com/CoJust.html>. Copyright 1999–2001; visited 25 July 2001.

World Shakespeare Bibliography Online. ed. James L. Harner. The Folger Shakespeare Library. <http://www-english.tamu.edu/wsb>. Updated 'regularly throughout the year'. Access by subscription only.

Shakespeare's Globe Research Database. Reading: Renaissance Texts Research Centre, University of Reading, 2000. <http://www.reading.ac.uk/globe>. A site that includes extensive research materials on both the original Globe, and the New Globe now built close to the original site.

Search Engines (selected)

Altavista. AltaVista Company: Palo Alto, CA, 2001. <http://www.altavista.com>.

Dmoz: Open Directory Project. Netscape: California, 1998–2001. <http://dmoz.org>. Recommended.

Google. Google: San Francisco, CA, 2001. <http://www.google.com>. Recommended.

Lycos. Lycos, Inc.: Barcelona, Spain, and Waltham, MA, 2001. <http://www.lycos.com>.

Yahoo. Yahoo Inc.: Sunnyvale, CA: 2001. <http://www.yahoo.com>.

Metasites (selected)

Best, Michael. 'Sites on Shakespeare and the Renaissance'. *Internet Shakespeare Editions* (Victoria, BC: University of Victoria, 2001). <http://www.uvic.ca/shakespeare/Annex/ShakSites1.html>.

Gray, Terry A. *Mr. William Shakespeare and the Internet*. San Marcos, CA: Palomar College, 1995–2001. <http://shakespeare.palomar.edu/>. Recommended.

Liu, Alan. *Voice of the Shuttle* (Santa Barbara: English Department, University of California: 2001). <http://vos.ucsb.edu/>.

Ziegler, Georgianna. *Early Modern Women Online: An Annotated Bibliography*. <http://chnm.gmu.edu/emw/bibliography.htm>. A comprehensive and informative gateway to women's writing, art, and society.

Zurcher, Andrew. *CERES (Cambridge English Renaissance Electronic Service)*. 'Page of Links' (Cambridge: Faculty of English, University of Cambridge, 2000). <http://www.english.cam.ac.uk/ceres/links.htm>.

Websites

Welcome to one of the busiest – and most useful – areas for Shakespeare studies. As with so many other things, the Web has revolutionized the process of finding out about Shakespeare: nowadays you can research Hamlet's motivations, check a quote, watch video footage of influential interpretations, try out your theories on a customized discussion group, find out some answers, read reviews of current productions, book tickets online – or just simply order the DVD to watch at your leisure. And all without straying from your Internet connection. This directory creams the best of what's currently available, but the Internet, like the universe, is continuously expanding, so keep your eyes peeled – perhaps at one of the online Shakespeare gateways (lists of interesting websites) listed below.

Shakespeare gateways

Also sometimes called "portals" in Net-speak, these are websites about websites, offering lists of links put together and recommended by human beings rather than search-engine programs. Though if already you know what you're after it might be best to skip these and head to the destinations listed later on, these sites make it easy to browse – and marvel at the sheer amount of – Shakespearian content available online. They're a great way to get started. Another (constantly updated) option is to use a Web directory such as the Google Directory (dir.google.com) and drill down through its listings to find what you want.

Internet Shakespeare Editions
ise.uvic.ca

Supported by the University of Victoria, the stated aim of Internet Shakespeare Editions is to create reliable and scholarly texts native to a Web environment. So far they've reached *Cymbeline, Romeo and Juliet, Troilus and Cressida* and some of the poems, but ISE is richer than just this, truly earning it gateway status: the list of Shakespeare sites compiled by supremo Michael Best is reason enough for visiting. At the moment it's something of a skeleton but has grand plans for the future, and its intelligent and thoughtful discussion documents on what the Web can do for Shakespeare give a taste of what's to come.

Mr William Shakespeare and the Internet
shakespeare.palomar.edu

One of the best online Shakespeare resources around, Terry Gray's Mr William Shakespeare and the Internet must be high up the list of Shakespearian Web wonders. Not only terrifically comprehensive (covering all the major bases, from biographical and theatrical work to hand-picked texts), it's also brilliantly annotated and laid out, making it ideal as a starting point – but one you'll come back to again and again. Compare Ken Bugajski's Shakespeare Web Links (www-english .tamu.edu/wsb/links.html) and the list at the German Shakespeare Society (see below).

Sh:in:E – Shakespeare in Europe
www.unibas.ch/shine

An elegantly organized metasite, Shakespeare in Europe springs from an educational philosophy which promotes cultural cross-pollination – the Bard being selected because of his unique international appeal. (In an intriguing survey published here, Shakespeare featured as the most popular writer in France, Spain, Italy and Germany – though those surveyed were forbidden from voting for writers from their own country.) There are plenty of good sites recommended on these pages, and Sh:in:E's affiliation with the University of Basel links it to diverse academic content too.

Touchstone
www.touchstone.bham.ac.uk

Touchstone is like a British equivalent of Sh:in:E, a newly

available research tool linking scholarly resources in the UK with those further afield, all based at Birmingham University. Its coverage is enviable, bringing together such things as a centralized catalogue for Shakespearian library resources, databases of British Shakespeare performances (Traffic of the Stage falls under the same umbrella; see p.503), links to global Shakespeare organizations and listings of scholarly and educational events.

Shopping for Shakespeare

One of the purposes of this *Rough Guide* is to offer suggestions on what to purchase across a range of different media, so below we recommend some of the best and easiest ways to get your hands on exactly what you want — not always as easy as it may sound, with many Shakespeare-related products counting as specialist interest. But with these sites you should be able to track down even the most recondite recommendation. And if you fancy liberating your just-read tome and sharing it with the world at large, try Bookcrossing (www.bookcrossing.com) ...

Amazon
www.amazon.com [.co.uk, .de., .jp, .fr, etc]

If you've been on the Web you're unlikely to have missed the gargantuan Amazon, which started off as a not-so-humble bookseller in the mid-1990s and now stocks products from gardening equipment to jewellery. Nevertheless books still account for a core component of their trade, and they have one of the fullest catalogues around – tap in the title of something published back in the 1960s, say, and it's likely to come up as easily as a paperback printed last spring. Helpful in this regard is their teamwork with secondhand partners, which lets you search through the main catalogue and order an out-of-print title from an affiliated retailer. Amazon's various country-specific sites do a brisk trade, so it's worth tracking down your local one first (the British Amazon.co.uk even has a Shakespeare Store).

Abebooks
www.abebooks.com

If Amazon doesn't come up with the goods – likely if the book you're after is out of print – you may be best trying a specialist rare book website. Abebooks is probably the most impressive, renowned for its extensive network of affiliate booksellers across the globe, all accessible within a few clicks from the main search page: simply type in the title you want and a list of bookshops with relevant secondhand stock will rapidly appear. They provide detail about the condition of items, and if you have any further queries you can simply give the bookshop a call yourself. Also recommended is Alibris (www.alibris.com), who handle films and music too.

If neither Amazon nor Abebooks does the job, it's worth trawling through local booksellers (long lists at www.bookweb.org/bookstores in the US and www.books.co.uk in the UK):

Barnes & Noble	www.barnesandnoble.com
Blackwell's	www.blackwell.co.uk
Borders	www.borders.com
BOL	www.bol.com
Bookzone	www.bookzone.co.uk
Buy.com	www.buy.com
Country Books	www.countrybookshop.co.uk
Foyles	www.foyles.co.uk
Waterstone's	www.waterstones.co.uk
WHSmith	www.bookshop.co.uk

Another option is to search many stores simultaneously for availability and price by going to:

AddAll	www.addall.com
BookBrain	www.bookbrain.co.uk

Ambrose Video

www.ambrosevideo.com

Educational publishers Ambrose feature in this list mainly because they've been responsible for rereleasing the complete set of BBC Shakespeare titles (recommended at certain points in this book; see individual play chapters for details) on DVD and VHS. These products are aimed at the US educational market rather than consumers and are correspondingly expensive – around $100 for individual titles in either format, though shop around for better deals.

Audible.com

www.audible.com

Audible.com offers a neat idea that might appeal if you're fed up of ordering discs and tapes through the mail: computer software that converts audiobooks into digital files which can then be downloaded to your computer – and from there you can do what you want with them, whether that's shifting them to a portable MP3 player, sending them elsewhere or simply listening on your machine. You buy titles in the standard way (but with significant reductions), and the files you order are yours to keep.

Moviemail [UK]

www.moviemail-online.co.uk

This mail-order supplier not only stocks art-house and world cinema titles, but follows up with some excellent prices. Set up in 1996 by film nut Carol Hunter, Moviemail has been expanding exponentially – recently into online rental – and

now offers thousands of hard-to-get titles, with their catalogue linked to the UK In-Print database, so you can see precisely what's available. And the Web interface, recently overhauled, is slick: you can browse not just by title and director but cast and geographical region too. They also do film rental (see below). See also Sendit.com (www.sendit.com), likewise based in the UK.

Poor Yorick Shakespeare Catalogue

www.bardcentral.com

Really the first destination to check what's currently available in the field of Shakespeare media, and ideal for browsing Shakespeariana. Poor Yorick began life as an independent retailer based in Stratford, Ontario and migrated onto the Web, from where its founder, Tanya Gough, has been running an energetically updated database for over seven years. Coverage extends all the way from books and VHS/DVD to spoken word titles, soundtracks and Shakespeare for kids. Prices in US or Canadian dollars only, but they do ship internationally.

Rob Wilton Theatricalia

www.phyllis.demon.co.uk/theatricalia

If you're at all interested in the history of the performing arts, Rob Wilton's online store is invaluable. Wilton stocks all manner of British theatre, music and opera programmes going back before World War I – you can get your hands on everything from a commemorative programme for Gielgud's celebrated 1930 *Hamlet* at the Old Vic to recent film memorabilia.

Texts and concordances

Free online texts are an excellent quick fix: supremely handy for looking up quotations, saving you a trip to the library or the cost of a concordance (around £75/$100 for the latter at the time of writing). Despite the convenience – and it's undeniably easier to tap in a search term than thumb through a vast tome – any results should always be double-checked with a printed text if you're at all concerned about accuracy. Imperfect searching technology might also dampen your enthusiasm; if you're still stumped by the location of that mystery phrase after trying out this lot, it's always worth putting it in double-quotes and using a standard search engine such as Google (www.google.com).

Open Source Shakespeare

www.opensourceshakespeare.com

New to the Net, but OSS is easily the most impressive free concordance we've come across – swift and seemingly accurate, and it contains the Sonnets and narrative poems too. The brainchild of US newspaperman Eric Johnson, the site is free from clunks and easy to use, the advanced search being particularly powerful. Texts are generally from that venerable Internet standard, the Moby Shakespeare, though a few are sourced from Project Gutenberg (there's no *Two Noble Kinsmen*, however). Even better for those of a techie disposition, its software runs on democratic open-source

principles and can even be built into other websites. Also recommended, but in development stage at the time of writing, is The Nameless Shakespeare (www.library .northwestern.edu/shakespeare), which promises to have more powerful search facilities than anything currently available.

Oxford Shakespeare

www.bartleby.com/70

In case you're wondering, not the ultra-hip *Oxford Shakespeare* of 1988, but the more elderly incarnation of 1914 – so again no *Noble Kinsmen.* Haphazard search results might require

some trawling, though the friendly interface makes it a doddle to use as an online text if that's what your after. All of Bartleby's other reference tools – from *Gray's Anatomy* to the works of Walt Whitman – are just a click away, and fully searchable.

Project Gutenberg
www.gutenberg.net

The granddaddy of them all, Project Gutenberg has been putting copyright-free texts on the World Wide Web for what (in wired terms anyway) is ancient history – in fact since 1971, when its founder developed what we now know as "etexts" by sending a computerized US Declaration of Independence to some pals. Now Gutenberg has more than 10,000 ebooks online, all in low-tech, plain-text format so that as many people as possible have access. No frills, but that's the philosophy – you can either read these versions online or download the (super-tiny) files to your machine.

Schoenberg Center for Electronic Text and Image
dewey.library.upenn.edu/sceti

With nearly every major research library in the world hurriedly

digitizing its collections and showcasing them online, there's never been a better time to get close to the holiest of holies, the 1623 First Folio. The University of Pennsylvania has come up with the glossiest version: an extensive collection of electronic Shakespeare editions residing in the Furness Library (see p.505), including a digital F1. You will need a broadband-speed connection to get the most out of it, though. Instead of gazing at lushly rendered images, if you'd rather browse (and search) text from the First Folio and early quartos laid out specially for the Web, the Electronic Text Center at the University of Virginia is terrific: etext.virginia.edu /shakespeare/folio

Shakespeare Apocrypha
www.republicofheaven.org.uk
/sh_apocrypha.htm

Does exactly what it claims to: brings together a list of all the plays that have ever been suggested as Shakespearian (all the way from *Noble Kinsmen* and *Pericles* to the wackier reaches of *George A Greene* and *Edmund Ironside*) and provides links to online texts, usually from Project Gutenberg. Unfussy and very helpful.

Online DVD rental

The notion of renting DVDs through a website rather than via a bricks-and-mortar shop seems to have caught on in the last year or so, with even UK supermarket giant Tesco (www.tesco.com) recently getting in on the act. In theory it's a great idea – you're more likely to find the Shakespeare title you want from an online superstore than a corner-store – but it might be a while yet before you can taste a more varied menu than *Shakespeare in Love* and Baz Luhrmann's *Romeo+Juliet* (see p.313), partly because many Shakespeare titles still haven't made the leap to DVD.

Love Film
www.lovefilm.com [UK]

Offering a good selection of art titles alongside standard Hollywood offerings, Love Film has got plenty going for it – including a great website that lets you browse for what you're after in an assortment of ways. Postage both ways is included in the price (around £10 per month at the time of writing), and you can hang onto discs as long as you like, with no late fees incurred. Moviemail (www.moviemail-online.co.uk), a

terrific mail-order store recommended above, also does UK rental.

Netflix [US]
www.netflix.com

Working on a near-identical basis to Love Film, this US equivalent has been going since 1998 and comes recommended by nearly a million customers. They've got over 18,000 titles on offer and a flat subscription rate of $20 per month, for which you're able to order as many titles as you can bear to goggle at.

Shakespeare theatres, companies and festivals

While Shakespeare can be – and, thankfully, is – performed anywhere from scout halls to factory floors, there are a number of theatres worldwide devoted to performing his plays and several Shakespeare festivals of international standing. So whether you want to nip to a production while you're in town or embark on a globetrotting tour of all the Stratfords in the world, research the options online. If you're simply interested in tracking what's on at the theatre centres of London's West End or Broadway, Official London Theatre

(www.officiallondontheatre.co.uk) and Playbill (www.playbill.com) should do the trick, and they even have links so you can book tickets online. And for a full list of Shakespeare festivals worldwide, try Electronic Shakespeare (www.wfu.edu/~tedforrl/shakespeare).

National Theatre, London
www.nt-online.org

Though its three theatres stage a wide range of plays, there have been many fine Shakespeare productions since the National Theatre first opened with *Hamlet*, starring Peter O'Toole, in 1963 (the website lists all subsequent Shakespeare stagings). The recent directorship of Nicholas Hytner has kept up the tradition, but given it a sharper edge. Recent highlights include a *Henry V* that drew parallels with the Iraq war (2003, see p.106), and a chillingly sleazy *Measure for Measure* in collaboration with Theatre de Complicite (2004).

New York Shakespeare Festival
www.publictheater.org

Justly famous for its unique "Shakespeare in the Park" series, which runs every summer and attracts many thousands of spectators, Joe Papp's Public Theater began life in the 1950s as a workshop devoted to the Bard and has kept alive a strong Shakespearian tradition since. Many stars have graced its stage — James Earl Jones, Kevin Kline, Meryl Streep and Christopher Walken, among others — and the folk at the Public Theater continue to develop bright and interesting work.

Oregon Shakespeare Festival
www.orshakes.org

In operation nearly nine months of the year (and it's been going nearly seventy), the OSF is the largest not-for-profit theatre organization in the US, with over 450 professional actors performing in its three houses at Ashland, Oregon. Repertoire is anchored in Shakespeare, naturally, but there's plenty else besides, both classic and contemporary — their 2004 season saw *Lear* and Lorraine Hansberry's *A Raisin in the Sun* rubbing shoulders with new writing from the likes of Frank Galati and Charlotte Jones.

Royal Shakespeare Company
www.rsc.org.uk

One of the world's most famous classical companies has an excellent Web offering, allowing you to do all sorts of things: see what's on at Stratford, London or one of their UK (sometimes international) touring venues; buy tickets; look up the RSC's Web learning zone; or browse their extensive online archives (including photos from hundreds of historical productions). If you're planning a trip to the town, Stratford's web presence (www.stratford-upon-avon.co.uk) should provide some pointers — alternatively you could get the critical lowdown from *The Rough Guide to England*, freely online at: www.roughguides.com

Shakespeare Festival of Canada
www.stratford-festival.on.ca

Based at the "other" Stratford — in fact Stratford, Ontario is just one of several in North America — the Canadian Shakespeare Festival has always been one of the most well-respected and artistically engaging set-ups of its kind in the world. Founded in the 1950s by a local journalist who decided that a gala devoted to Shakespeare was the best way for the town to stave off economic depression, the Festival has attracted a wealth of talent both international and home-grown, all eager to perform on Tanya Moiseiwitsch's famous open stage. Nowadays there's even a fringe.

Shakespeare's Globe
www.shakespeares-globe.org

Though criticized by some as little more than a heritage tourist attraction when it opened in 1995, London's Bankside Globe (built just a few feet away from the site of the original) has proved to be very much more than that. It's true that productions can be patchy — not many Globe actors have the charisma and panache of its outgoing artistic director Mark Rylance — but at their best they provide unique insights into Shakespearian performance practice and involve the audience in a far more direct way than happens in more conventional spaces. Their website hasn't anything like the depth of content of other theatres', but there's enough here to tempt you into booking a visit.

Shakespeare Theater, Washington DC
www.shakespearedc.org

Headed these days by internationally recognized artistic director Michael Kahn (a past head of Stratford, Connecticut), the Shakespeare Theater in the nation's capital was originally part of the Folger Library (see p.505), but split away in 1992 when it left to occupy the Lansburgh Theater in downtown DC. Generally regarded as one of the finest companies of its kind in the United States, the Shakespeare Theater has produced drama of international standing — most famously perhaps in 1997, when British director Jude Kelly presided over a "photonegative" production of *Othello* (see p.264). The company website is well maintained and contains plenty of detail on all their activities.

Stratford Festival (Connecticut)
www.stratfordfestival.com

Not much going on at Stratford, CN at the time of writing (winter 2004): the theatre is closed for renovation and the State authorities are in the process of giving it back to the locals to run. Even so it's one of the most venerable and well-regarded of American Shakespeare festivals, and not just on the Northeast seaboard. It began life in 1951, built itself a permanent home a few years later and has become known for some excellent productions. Hopefully once things get going again that tradition will continue.

Study guides & educational sites

There's lots of lowest-common-denominator Shakespearian content online, much of it catering for the market in homework hints and cheats. But if you know where to look there's some outstanding educational information out there, often served up attractively and with an eye to making learning as fun as possible. If none of the sites recommended below offers quite what you want, try combing reviews and recommendations at one of the big Shakespeare gateways (see p.498). And if you're looking for ideas on how to spice up your next English class, see what those folks at Cal Poly did on their big day out (cla.calpoly.edu/~smarx /Shakespeare/shakeswanton/shwanton.html).

About Shakespeare
shakespeare.about.com

It's a sign that your subject has truly arrived on the Net when knowledge giants About.com begin to cover it. In these pages, authored by Amanda Mabillard (also the person behind Shakespeare Online.com), Shakespeare gets a typically thorough working over, with plenty of original, convincing articles, some fun diversions and links to useful sites elsewhere.

Absolute Shakespeare
absoluteshakespeare.com

A handy and attractively built site, Absolute Shakespeare has won several awards for its content and layout. Here you'll find texts in easily browsable HMTL format, summaries and explanatory articles on some famous plays, excerpts from criticism by Coleridge and Hazlitt and plenty of Bardic trivia. The insights it offers aren't going to knock anyone's socks off, but this is a useful resource for first-timers nonetheless.

The Globe: Then and Now
www.britannica.com/shakespeare

A typically impressive offering from info titans Britannica, this website commemorates the reconstruction of the London Globe. There's lots here (over 500 articles, in fact), all of it engaging and reliable – as you might expect, given that it was put together by well-respected Shakespeare academic David Bevington. In addition to information on the Globe itself, represented by animated digital views), there are biographies of Shakespeare and his contemporaries, information on the plays and some great "special features" – including a piece on Shakespeare and Opera supported by sound samples.

OUP Shakespeare Centre
www.oup.co.uk/academic/humanities /literature/shakespeare

In recent years especially, Oxford University Press have become perhaps the foremost publisher of Shakespeare titles, and their various publications on the subject are brought together in this useful website. Though the content hasn't been refreshed for a while and at base it's promotional material, there are articles here from the likes of Stanley Wells (on the Oxford Shakespeare) and John Sutherland (on Shakespearian puzzles), as well as other stuff of interest. The OUP Reading Room (www.oup.co.uk/readingroom/literature) is also excellent: it provides tasters from recent titles, available as downloadable PDFs, so you can sample what's on the shelf at the moment.

Shakespeare's Globe Research Database
www.rdg.ac.uk/globe

Though more scholarly in focus than other sites reviewed in this section, there's so much on offer here that anyone from schoolkids to professors could find something new. The site offers copious information on the sixteenth-century Globe (including archeological data and images taken from contemporary surveys by Hollar and Visscher) as well as its modern-day counterpart (there's loads here on the rebuilding project), and also a database of fascinating articles on performing Shakespeare from across the Web. If you're trying to find out details of a Shakespeare production that appeared anywhere in the UK after 1997, try the Shakespeare Institute's Traffic of the Stage database (www.is.bham.ac.uk /traffic).

Shake Sphere
sites.micro-link.net/zekscrab

A US site aimed at schools, Shake Sphere brings nearly everything you want onto its extensive – and slightly daunting – front page, and is perhaps the best all-rounder in this category. There are essays on a wide range of topics (including one wittily comparing George W. Bush to Henry V), plot summaries and lists of characters for no fewer than 41 plays (*Edward III*, *Sir Thomas More* and *Cardenio* featuring too), study guides, glossaries of literary terms, biographies, texts – you name it. Reliable and intelligent, which is the best thing of all.

Discussion groups

Feel the need to vent your opinions? To test-drive an extravagant new theory? Or simply to find out something from the experts? Then you might well be interested in that venerable Net concept, the online discussion group. Whether it's an old-style list, where subscribers communicate via email, or a newfangled Web-based forum, there's no better way to share Shakespearian news and views. Here are a brace of the best; you can track down others via a specialist gateway (see p.498).

SHAKSPER
www.shaksper.net

The doyen of Shakespeare discussion groups, SHAKSPER is subscribed to by a large swathe of academics, experts and Bard enthusiasts – but even if you aren't admitted to join the party (applications to contribute are vetted by the moderator) every single thread is searchable on the Web, enabling you to comb the crop for whatever interests you most. Sanity sometimes gives way to fervour on SHAKSPER, but the standard of conversation is high, moderation is thoughtful and effective, and some genuinely interesting things get hammered out. Compare The Bard Online, a recently founded discussion group designed for graduate students but open to others; it's yet to get going properly at the time of writing (groups.yahoo.com/group/theBardonline).

Shakespeare High
www.shakespearehigh.com

Aimed at a different target audience to SHAKSPER, Amy Ulen's impressive offering will suit high-schoolers across the globe as well as their teachers (there's a special "Faculty Lounge" to offer insight and support). At the heart of the site is the "Shakespeare High Cafeteria", a discussion zone allowing you to debate all sorts of interesting issues in a relaxed and inquisitive environment (hot topics at the time of writing include debates on Ariel's sexuality and a poll on Shakespeare's "greatest tragedy" with *Romeo and Juliet* and *Hamlet* currently neck-and-neck), but there are also links to fact-based educational resources. Only the editor's penchant for Shakespeare–*Star Trek* parallels might turn some surfers awry.

The authorship debate

In common with most minority hobbies and conspiracy theories, the Internet has provided a cosy roost for devotees of the so-called "authorship debate" (see p.456), as the merest glance at an online directory will suggest. Despite the tangible air of derangement that attends most things in this area – and that goes for all sides of the argument – it can be intriguing to explore the options for yourself, and even to ask whether it really matters whether some of the greatest plays ever written were composed by a middle-class man from Stratford, or someone socially better connected. Even PBS's *Frontline* programme has expressed an interest (www.pbs.org/wgbh/pages/frontline/shakespeare).

Shakespeare Oxford Society
www.shakespeare-oxford.com

Although better laid out than its Baconian adversary, the website of the Shakespeare Oxford Society – who suggest that Edward de Vere, Seventeenth Earl of Oxford, handed scripts to an actor called Shakespeare in order to preserve his courtly reputation – has significant mountains to climb. One is Oxford's surviving poems, which rarely rise above the level of doggerel; another is the fact that he died in 1604, well before about a third of the plays were written (including *The Tempest*, which is securely dated around 1610). Despite the yawning gaps in their case, though, the Oxonians scramble some precarious peaks with energy and occasional panache.

Sir Francis Bacon's New Advancement of Learning
www.sirbacon.org

Behind the slightly lurid exterior lies one of the largest anti-Stratfordian sites on the Net, arguing that polymath Francis Bacon – a man whom everyone agrees to have been one of the great geniuses of his age (conspicuously unlike the Earl of Oxford) was behind Shakespeare. There's lots here, and it's not the easiest to browse through, but nevertheless it offers the sum total of Baconian arguments: if you're not persuaded by this, you won't be convinced by anything else.

Shakespeare Authorship
shakespeareauthorship.com

A site "dedicated to the proposition that Shakespeare wrote Shakespeare": well-tempered and on the whole good-humoured, but nonetheless quite intent on its task. David Kathman marshals the standard arguments effectively, producing a range of bite-sized ripostes to every anti-Stratfordian suggestion under the sun, all linked to solid (if sometimes tendentious) scholarly foundations. Even super-sceptics might pause for thought.

Libraries, organizations and other institutions

Many of the world's leading libraries contain work by Shakespeare, and a few are even built around his work. Some of these institutions have been at the forefront of Web presentation, offering sophisticated access to their enviable collections – particularly in the last few years, when new technology has made it easier than ever before to see digital texts and online exhibitions. We also include the sites of several Shakespeare-related organizations.

British Library
www.bl.uk

The UK's national library has lots more than stuff from Britain's shores – among its "treasures" are Da Vinci's notebooks and a Chinese religious text that is the earliest printed book in the world. They have plenty of Shakespeare, too, even if you have to dig around the website to find it. And by that time you might have been distracted by some sumptuously presented digital collections including the Lindisfarne Gospels and Sultan Baybars' Qur'an – if you've got broadband, that is. The BL's recently overhauled master catalogue is easy accessible via the Web interface, and there are also plenty of online learning resources.

Canadian Adaptations of Shakespeare
www.canadianshakespeares.ca

A unique resource, CASP attempts to track how Shakespeare has been accommodated into Canadian culture but has interest far beyond that – its tale of how an Englishman became an honorary Canadian has been replicated in countless countries worldwide. Proudly decorated with the Sanders portrait (recently rediscovered in Ottawa; see p.463) and a quote from Voltaire proclaiming that "Shakespeare is a drunken savage with some imagination whose plays please only in London and Canada", the site was originally built for students looking for unusual ways into Shakespeare but has since developed into a terrific storehouse of information on Canadian Shakespeariana – describing plays, songs, TV shows and films, much of it supported by multimedia backup.

Deutsche Shakespeare-Gesellschaft
www.shakespeare-gesellschaft.de/english

The German Shakespeare Society goes all the way back to 1864, laying claim to be the oldest literary society in the world – fitting testament to a continuing special relationship between Shakespeare and Germany. The Society does all sorts of things, including running a well-regarded journal (*Shakespeare Jahrbuch*, which has contributions in English as well as German), supporting translation and editing activities, and holding international conferences. This bilingual site is constructed with impressive thoroughness, containing among much else a worldwide diary for Shakespeare events, reviews of productions and links to relevant German resources and institutions.

Folger Shakespeare Library
www.folger.edu

The Folger is probably the hub for Shakespearian learning in the US (it's located, fittingly enough, on Capitol Hill), perhaps the world. On its shelves are over 250,000 volumes, including a remarkable selection of early printed books and early modern manuscripts. A shame more of this stuff isn't online, but there is at least plenty of information on the Folger's many events and real-life exhibitions. Plus you can take a walk-through of the building, and find out about the Folger Institute, a centre for advanced humanities study.

Furness Library
dewey.library.upenn.edu/sceti/furness

There's plenty to learn at the website of the famous Furness Library, in fact just part of Penn University's gee-whiz Schoenberg Center for Electronic Texts (see p.501). As well as all those texts (many of them related to Shakespeare, whether it's work by Edwin Booth or Michel de Montaigne), there's the suavely named ERIC, a site devoted to putting the English Renaissance in context through multimedia tutorials and articles on early modern publishing. Undeniably the best introduction to the area current on the Web.

Huntington Library
www.huntington.org

The Huntington has something of holy-grail status among research libraries – as well as containing all manner of wonderful books (among them the most famous Chaucer manuscript in existence, a Gutenberg Bible and copious Shakespeariana), the complex houses three art galleries and is surrounded by 150 acres of themed gardens. With the California beach only a few miles away, it's a wonder visiting scholars actually get any work done. The website contains plenty of interest, including selective images from their collection, and there's lots of information on events.

Shakespeare Birthplace Trust
www.shakespeare.org.uk

The SBT guards the flame of Shakespeare in Stratford, maintaining the five properties associated with him as well as supporting a celebrated library (which boasts the RSC's archives, including an online database of productions, and local records going all the way back to 1879). Unsurprisingly the site is mainly aimed at those intending pilgrimage, but there's also some useful background and educational information. The Trust also has an excellent specialist bookshop, which offers to mail titles worldwide, with all profits supporting the SBT.

Shakespeare Institute
www.shakespeare.bham.ac.uk

Affiliated to Birmingham University's English Department, the Shakespeare Institute was founded in the early 1950s by Renaissance scholar Allardyce Nicoll (also the first editor of the

journal *Shakespeare Survey*; see p.496) and now houses a fine library as well as running postgrad courses in Shakespeare studies. There's plenty going on both academically and with public events, so it's worth checking the site if you're planning to be in the area.

Shakespeare's World
shakespeare.emory.edu

Based at Georgia's Emory University, this excellent site is run by Harry Rusche, a member of the English department there. It's in two main sections, both of them fascinating: "Shakespeare and the Players", an online exhibition of images commemorating American and British actors from the nineteenth and early twentieth centuries, many of them in postcard form; and the as-yet-incomplete "Shakespeare Illustrated", a compendium of nineteenth-century paintings and criticism. Both are great resources, intelligently and compellingly presented.

Journals and criticism

Unsurprisingly, given that academic research formed the basis of the Internet, scholarly debate and discussion have prospered – in humanities as well as IT. All the major journals now have Web presences, and there are even a few that run solely online. We've selected the best Shakespearian ones and listed them below, along with other helpful resources if you're looking for critical writing in the area.

Early Modern Literary Studies
www.shu.ac.uk/emls

EMLS is how an online journal should be done: it's a no-frills site but one offering an impressive range of content. Everything that appears here is peer-refereed, and there's also an active readers' forum enabling people to respond to anything that appears. Specialization is in sixteenth- and seventeenth-century literature, but there's understandably lots of focus on electronic publishing and online scholarship too. Plentiful reviews and some excellent original articles.

London Review of Books
www.lrb.co.uk

An alternative to the *TLS* (see below), the biweekly *LRB* has a dedicated fan-base of slightly lunatic readers. Politically combative and painfully hip – in a tweedy sort of way – this journal offers more considered but esoteric reviews than are published elsewhere, many of them (though by no means all) to do with literature. The website is geared up for print subscribers, who have access to an archive dating back to 1998, but also offers a free taster of what's available.

New York Review of Books
www.nybooks.com

The *NYRB* is difficult to sum up in a few words: it's a slightly-less-than-biweekly literary/political magazine with an all-star

selection of contributors. Only here could you find a review of a book about rats and an article on Nick Hornby nuzzling up to an earnest piece on the US involvement in Iraq. Most of it makes for a great and varied read, and the subscription rates for the website are fairly attractive – at the time of writing $20 a year if you're already a subscriber ($64 per annum), or you can pay a one-off fee of $4 for single articles.

Shakespeare and His Critics
shakespearean.org.uk

Maintained by Shakespeare student and enthusiast Thomas Larque, Shakespeare and His Critics offers an excellent and expanding collection of critical work in the area, much of it nineteenth-century or earlier in origin. There's stuff here by usual suspects Coleridge and Samuel Johnson, but also some more unusual pieces – including an article by actress Helen Faucit on Ophelia and an electronic edition of Samuel Daniel's *Delia* (a sonnet sequence read by Shakespeare and probably a model for his own).

Shakespeare Magazine
www.shakespearemag.com

Linked to the magazine *Shakespeare*, Shakespearemag.com is addressed primarily to those teaching the Bard in British and American schools. The website offers more than a support structure for the print version: its news section is particularly handy (freshly updated in the latest blogging fashion at

shakespearemag.blogspot.com), and there are featured articles too.

Shakespeare Quarterly
www.folger.edu/sq

SQ's homepage offers little more than a list of what's currently in this well-respected journal (see p.496) and previous editions, but it can be worth dropping by every so often just to see what's going on. Text in every single issue is locatable via the JSTOR database (see p.508), but if you're not a subscriber or in an institution that is, knowing that will only make you jealous.

Shakespeare Survey
www.cambridge.org

As with *Shakespeare Quarterly*, the website for the British *Shakespeare Survey* (see p.496), navigable via the main CUP

homepage, won't tell you much more than what's in the current edition, but makes a handy reference nonetheless – unlike many other journals it's easy to purchase single copies rather than having to subscribe.

Times Literary Supplement
www.the-tls.co.uk

Published every week, the *TLS* is the UK humanities community's journal of record, reviewing nearly every significant scholarly title published on these shores and keeping an eagle eye on plenty else besides. Contributors are no longer anonymous, so messy hatchet jobs are rarer than they used to be, but nevertheless the standards set by the *TLS* are often severe. The website offers slim pickings to anyone not a subscriber to the print edition – a handful of articles – but if you do pay for full access you'll get your hands on a highly desirable archive.

Renaissance gateways and tools

While Shakespeare may have the lion's share of online coverage, there are huge amounts of other stuff out there, and if you want to broaden your knowledge of the Renaissance – whether for school, university or just because you're interested – the Web offers plenty of routes to enlightenment (and ultimately to the Enlightenment). Here are some of the best.

CERES
www.english.cam.ac.uk/ceres

Ceres is a classical nature goddess associated with fecundity and fertility; "CERES" stands for the Cambridge English Renaissance Electronic Service. Go figure. Despite a slight over-fondness for Latinate acronyms, this website, run by academics in the Cambridge University English department, is a fantastic resource, offering pointers to Renaissance material on the Web as well as regular email bulletins. The links page alone is worth a visit, and in recent years they've also started to put original scholarly work up on the site, both editions and critical writing.

Humbul Humanities
www.humbul.ac.uk

A UK-based gateway aimed at those in further education, Humbul offers not just lists of links but a fully searchable database of educational resources in the humanities. It's set up rather like a hand-picked Web directory, and is a delight to use (it even lists British humanities jobs, if you feel like applying for a professorship or two).

Perseus Digital Library
www.perseus.tufts.edu

Not a portal as such, but then it's pretty hard to say exactly what Perseus is – apart from supremely handy. At base it's a collection of electronic texts (a corpus that is geographically ever-expanding, as its innovative map on the homepage shows)

but has a series of invaluable research tools, among them online versions of Latin and Greek dictionaries and a digital archive devoted to the history and topography of London, as well as an area devoted especially to the English Renaissance.

REED
eir.library.utoronto.ca/REED/

For nigh-on thirty years, the Records of Early English Drama team – internationally staffed but based at Victoria University in Canada – has been trawling dramatic texts and records referring to performances, aiming to construct a picture of what local drama was like in England between the middle ages and the closure of the theatres in 1642. As well as publishing their findings in scholarly editions, they also run this free pilot website, which enables you to search for specific events, performers and works – at the moment only in Lancashire, but coverage should be extended in future. An online exhibition available at the time of writing concentrates on "Shakespeare in the provinces".

Voice of the Shuttle
vos.ucsb.edu

An old favourite but recently jazzed up with a glossy new design, Voice of the Shuttle (the term comes from Aristotle's *Poetics*) is a vast gateway for humanities research worldwide, with particular expertise in the opportunities offered by new media. Everything is searchable, but you can also drill down through specialist directories to find what you want.

Subscription-only sites

It's an unpalatable truth that many of the serious literary research tools – the reliable texts, the facsimiles, the dictionaries – are not all free on the Web: they're costly to create and maintain, and inevitably that gets passed on to consumers (or, more usually, institutions who can afford to pay the subscription rates). Even so, we've listed the most impressive ones here in case you're lucky enough to have access – and in the forlorn hope that they become more democratically available in years to come.

Early English Books Online
eebo.chadwyck.com

Another Chadwyck-Healey venture, EEBO is how all online databases should operate: it's nicely designed, a breeze to use and contains most of what you want. In this case the contents are electronic versions of the microfilm scans most research libraries undertook years ago to record and preserve their collections. What that boils down to is facsimile versions of 100,000 or so early English printed books in the Adobe Acrobat (PDF) file format, all a few clicks away and downloadable to your computer – so within seconds you can be scanning the Bodleian Library copy of *Venus and Adonis* annotated by Edmund Malone (or indeed browsing for some naughty sixteenth-century woodcuts). Even more exciting is the ongoing project to make each file text-searchable, so that you can find individual words and phrases.

Electronic Short-Title Catalogue
www.rlg.org

This one really is for experts: a full-spec electronic database of every English book that appeared in print between 1475 and 1700, plus plenty more recent ones besides. Distilled from the hard-copy *Short-Title Catalogue* edited by Pollard, Redgrave and Wing, ESTC is uniquely useful if you're digging around in bibliographical history (and can work out how their slightly esoteric way of presenting information operates). RLG, the not-for-profit operators of the database and many others besides, will let you pay for individual searches rather than the full whack if you want to find out something specific; contact them for pricing details.

Encyclopædia Britannica
www.britannica.com

Not quite fair to call this subscription-only: although for most of the deep content you'll have to fork out, information lying closer to the surface is yours for free. That's not much, so you'll soon get frustrated if you want to plumb *Britannica's* considerable depths on the cheap. Even so, rates aren't horrendous (about $10 a month), if you think you'll use it often, plus libraries are more likely to have this subscription resource than any other we've mentioned. But that's why free web encyclopedias (Bartleby's version of the *Columbia Encyclopedia* at www.bartleby.com/65 is as good as any) have their uses.

JSTOR Archive
www.jstor.org

JSTOR collects over four hundred academic journals and publishes images of every page in every edition. Unwieldy at times (these can be quite large files), but this system enables you to read – or print off – text just as it originally appeared in the printed format, with footnotes, typos and all. Main attractions for Shakespearians are current and back issues of renowned journal *Shakespeare Quarterly* (see p.507), though other literary titles in the Renaissance area include *Representations, ELH* and *Studies in English Literature*. Subscription fees vary; contact JSTOR for details.

Literature Online
lion.chadwyck.com

An enviable (and relatively non-specialist) resource for those wealthy enough to have access is Chadwyck-Healey's Literature Online, which boasts over 300,000 full-text English works in poetry, drama and prose. What this means is that you can search and browse literary works from Anglo-Saxon verse all the way up to contemporary fiction, for individual keywords if required. Both invaluable and very valuable – as Chadwyck-Healey know, as indeed will you after downloading the brochure and reading the pricing structure.

Oxford English Dictionary
www.oed.com

Incredible to consider the energy, organization and resources that went into assembling the first versions of the *OED* all those years ago – slips of paper instead of computers for a start, although the *Dictionary* is nowadays updated digitally and a new print edition seems unlikely (the last in 1989 spanned 20 volumes). Especially because the advantages of the digital interface are considerable: as well as searching very precisely, you can sift through results in all sorts of creative ways and do lots of funky things besides. The downside, as ever, is the subscription: around £200/$300 per annum for individuals.

World Shakespeare Bibliography
www.worldshakesbib.org

Much as it may seem as if there can be no method of keeping track of the rampant Shakespeare publishing industry, there is,

and this is it: a regularly updated bibliography of every book, article and review from 1966 to the present, with plentiful other Shakespeariana besides. Even more astounding is the fact that the World Shakespeare Bibliography is truly global in reach, covering some 98 languages: altogether there are over 90,000 entries.

Fun stuff

And if you're fed up of using it for work, the Web offers plenty of scope for Shakespearian-style time-wasting...

Hamlet Machine
de.geocities.com/hamletmachine1

Erase the most famous soliloquy in the language word-by-word, with mad accompaniment from obscure popular culture as you go. Glossing *Hamlet* has never been this fun. Or so utterly batty.

iPod Sonnets
www.westering.com/ipod

Transplant the Bard into the digital generation with this freebie from Westering, a simple file enabling you to upload all 154 Sonnets onto your shiny new 'Pod. See if you can memorize the lot before the battery dies.

Proper Elizabethan Accents
www.renfaire.com/Language

Parley with the natives at this excellent site, which promises to teach you "faire Elizabethan". As a glance at the "Elizabethan insults" section will demonstrate, there's lots to learn — but get your lips round some "fies" and "zounds" instead of the usual effing and blinding and you'll be well on the way. Sound files linked to each word show you exactly how it's done.

SCA Renaissance Dance
www.pbm.com/~lindahl/dance.html

Or of course you can forget the funny voices: learn how to impress by footing it featly here and there on this site dedicated to Renaissance dance. Includes a facsimile of a contemporary account of the "Nine Days' Wonder", the clown William Kempe's dance marathon from London to Norwich (see p.472).

Shakespeare's Will
www.documentsonline.pro.gov.uk

You may have to mug up on your English secretary script in order to make sense of what's on offer (lots of squiggles; try the course at www.english.cam.ac.uk/ceres/ehoc if you fancy a bash), but for those able to decode it here's the famous Will's infamous will in PDF format.

０９
有馬哲生「電子メディアによる文学研究の新展開（１）サイバースペースのシェイクスピア――デジタル
　化されるシェイクスピア研究」（『英語青年』第142巻第10号、1997年1月）、pp.562-563.

「あらゆるシェイクスピア劇のテキスト（現在広く使われている様々な版に加えて、フォリオ版、クォー
　ト版のファクシミリ・コピー版も含む）とその注釈や解説文と、デジタル化されたパフォーマンスの映
　像（いくつもの映画、テレビ番組、劇場録画など、映画は黒澤明などの翻案映画も含む）と、絵画や図
　像や挿絵や銅版画などのデジタル化された画像とをリンクさせることだ。これによって、コンピュ－
　タ・スクリーン上でシェイクスピア劇のテキストの１行をクリックすると、その一行に対応する映画や
　テレビ番組のパフォーマンスが何通りも見ることができ、さらにそれに関連するデジタル化された図像
　や絵画や挿絵などを関連資料としてコンピュータ・スクリーン上で参照できるようになる。」

１０
加藤行夫「サイバースペースのシェイクスピア」（『英語青年』第144巻第13号、1998年8月）、p.111.

「コンピュータで何ができるか。おそらく言語学等の領域では、コーパスの作成など、はるかに早い時期
　に実質的な利用を進めていたのだろう。・・・（省略）
　　昨今のシェイクスピア研究において、まず注目され始めたのは、膨大な量のデータを瞬時に解析する
　コンピュータの能力で、とりわけテクスト情報に対する縦横の検索は、従来のコンコーダンスにす
　らできなかったこと」

亢西民主編『莎士比亜戯劇賞析辞典』大原：山西教育出版
　　社, 1995.
『人民日報』2001 年 12 月 9 日号.

11. 韓国
Kim, Joo-Hyon. *Bi-cultural Critical Essays on Shakespeare*.
　　Woodbridge : D. S. Brewer, 1994.
Yoh, Suk-kee. '*Hamlet* Translation in Korea A cultural Outlook'.
　　Ed.Yoshiko Kawachi. *Shakespeare Worldwide*, vols.14–15.
　　Tokyo : Yushodo, 1995.
山田昭廣「韓国シェイクスピア協会の活動」『英語青年』,
　　1997 年 10 月号.

非英語圏のシェイクピア全般
Bharucha, Ruston. *Theatre and the World : Performance and
　　the Politics of Culture*. London & New York : Routledge,
　　1993.
Brandon, James R. 'Some Shakespeare (s) in Some Asia (s)'.
　　Asian Studies Review 20(3), April 1997.
Brown, John Russell. *New Sites for Shakespeare : Theatre, The
　　Audience and Asia*. London & New York : Routledge,
　　1999.
Esche, Edward J., ed. *Shakespeare and his Contemporaries in
　　Performance*. Aldershot : Ashgate, 2000.
Loomba, Ania and Martin Orkin, eds. *Post-Colonial Shake-
　　speare*. London : Routledge, 1998.
Novy, Marianne, ed. *Cross-Cultural* Performances : *Differences
　　in Women's Revisions of Shakespeare*. Urbana & Chicago :
　　U of Illinois P, 1993.
Reinelt, Janelle G. and Joseph R. Roach, eds. *Critical Theory
　　and Performance*. Ann Arbor : U of Michigan P, 1993.
（作成：荒井良雄, 川地美子, 南隆太, 協力：伊勢村定雄, 桑子順子,
　　藤原博通, 森祐希子）

IX　21 世紀のシェイクスピア

1) 関連文献
Collick, John. *Shakespeare, Cinema and Society*. Manchester
　　UP, 1989.
Elsom, John, ed. *Is Shakespeare Still Our Contemporary?* Lon-
　　don : Routledge, 1989.
Holderness, Graham, ed. *The Shakespeare Myth*. Manchester UP,
　　1988.
Kennedy, Dennis, ed. *Foreign Shakespeare : Contemporary
　　Performance*. Cambridge UP, 1993.
Salomone, Ronald E. and James E. Davis, eds. *Teaching Shake-
　　speare into the Twenty-First Century*. Athens : Ohio UP,
　　1997.
Sight and Sound. London : British Film Institute, 1932–90. New
　　ser. 1991–.

13

2) マルチメディア情報源
1. マルチメディア・プロジェクト
The Open University/ BBC Shakespeare Multimedia Research
　　Project : http : //www.ualberta.ca/˜sreimer/shakespr.htm/
　　注：2002 年現在中絶。ただし、1997 年現在の画像とデータは見
　　　ることができる。

2. インターネット
　　以下は、無数のサイトのなかから定評のあるものを選んだ。2002
　　年 3 月 23 日現在機能中であることを確認したが、URL が随時変
　　更されることがあることをお断りする。

Arden Net : http : //www.ardenShakespeare.com/ardennet/
Searching : Shakespeare & Internet Search Tools & Resources :
　　http://shakespeare.palomar.edu/Shakespeare/searching.
　　htm/.
Shakespeare : A Magazine for Teachers and Enthusiasts :
　　http : //shakespearemag.com/
The Folger Shakespeare Library :
　　http : //www.folger.edu/Home–02B.html/
The Shakespeare Birthplace Trust :
　　http : //www.stratford.co.uk/birthplace/
Shakespeare Globe Centre (USA) : http : //www.sgc.umd.edu/
Shakespeare Resources, Electronic Text Center, University of
　　Virginia : http : //etext.lib.virginia.edu/Shakespeare
Shakespeare Web : http : //www.shakespeare.com/
Mr. William Shakespeare and the Internet :
　　http : //daphne.palomar.edu/Shakespeare/
World Shakespeare Bibliography Online :
　　http : //www-english.tamu.edu/wsb/
日本シェイクスピア協会ホームページ（下記）の「リンク」
　　http : //www.soc.nii.ac.jp/sh/

3. データベース（CD-ROM を含む）
Annual Bibliography of English Language and Literature On-
　　Line : http : //www.lib.cam.ac.uk/MHRA/ABELL
Internet Shakespeare Editions : http : //www.uvic.ca/shakespeare/
Literature Online : http : //lion.chadwyck.com/
The Arden Shakespeare CD-ROM. Surrey : Thomas Nelson,

00037

1996.
The Complete Works of William Shakespeare :
　　http : //www.tech.mit.edu/Shakespeare/works.htm/
The Norton Shakespeare Workshop CD-ROM. Ed. Mark Rose.
　　New York : W. W. Norton & Co., 1997.
The Oxford Text Archive : http : //ota.ahds.ac.uk/
Shakespeare Database Project : http : //ves101.uni-muenster.de/
Shakespeare's Globe Research Database :
　　http : //www.rdg.ac.uk/globe/
The Shakespeare Performance Database :
　　http : //www.is.bham.ac.uk/shakespeare/performance.htm/

4. 電子通信・会議
SHAKSPER (The Global Electronic Shakespeare Conference) :
　　http : //www.Shakper.net/　　　　　　　　（作成：浜名恵美）

X　シェイクスピアと絵画

Bindman, David. *Blake as an Artist.* Oxford & New York : Dutton, 1977.
The Boydell Shakespeare Prints, with an Introduction by A. E. Santaniello. New York : Arno Press, 1979.
Gaunt, William. *A Concise History of English Painting.* London : Themes and Hudson, 1964.
　　ウィリアム・ゴーント『イギリス絵画小史』土田訓康訳．中央書院，1982.
Lindsay, Jack. *J. M. W. Turner, His Life and Work.* London : Cory, Adams & Mackay, 1966.
　　ジャック・リンゼイ『ターナー――生涯と芸術』高儀進訳．講談社，1974.
――――. *Turner : The Man and His Art.* London & New York : Granada, 1983.
Mehl, Dieter. 'Shakespeare Reference Books'. Eds. De Grazia, Margreta and Stanley Wells. *The Cambridge Companion to Shakespeare,* Cambridge U.P., 2001.
Wells, Stanley. *Shakespeare : An Illustrated Dictionary.* Oxford UP, 1978.
Yung, K. K., compiled. *National Portrait Gallery, Complete Illustrated Catalogue 1850-1976.* London : National Portrait Gallery, 1981.

井村君江『妖精の世界展』（カタログ）集巧社，1998.
――――.『妖精ファンタジー――絵画と詩』アスキー，1998.
――――.『フェアリー』新書館，1989.
王島茂編『ラスキン、モリス』世界の名著第 52 巻．中央公論社，1971.
小田島雄志『シェイクスピア・ギャラリー』（The Gallery of Illustrations for Shakespeare's Dramatic Works, 1802 による）社会思想社，1992.
嘉門安雄他監修『原色西洋美術事典』教育出版，1985.
河村錠一郎編『西洋絵画のなかのシェイクスピア展』（カタログ）東京新聞社，1992.
桜庭信之『ホガース論考――絵画と文学』研究社，1987.
『新潮世界美術辞典』新潮社，1985.
『世界美術大事典』全 6 巻．小学館．1990.
高橋裕子『イギリス美術』岩波新書 555．岩波書店，1998.
――――.高橋達史『ヴィクトリア朝万華鏡』新潮社，1993.
谷田博『ロセッティ――ラファエル前派を越えて』平凡社，1993.
平田家就『イギリス挿画史』研究社，1995.
　　　　　　　　　　　　　（作成：井村君江，三輪春樹）

付録 IV　年譜・関連歴史年表

Brownstone, David and Irene Franck, eds. *Timelines of the Arts and Literature.* New York : Harper Collins, 1994.

Campbell, O. J. and E.G. Quinn. 'Chronology of Events Related to the Life and Works of William Shakespeare'. *The Reader's Encyclopedia of Shakespeare.* New York : Thomas Y. Cowell, 1966.

Chambers, E. K. *William Shakespeare : A Study of Facts and Problems,* 2 vols. Oxford : Clarendon Press, 1930.

————. *Sources for a Biography of Shakespeare.* Oxford UP, 1946.

The Dictionary of National Biography. Oxford UP, 1885–1900.

Eccles, Mark. *Shakespeare in Warwickshire.* Madison : U of Wisconsin P, 1961.

Evans, G. Blakemore and J. J. M. Tobin, eds.' Annals, 1552–1616'. Eds. G.Blakemore Evans and J. J. M. Tobin, *The Riverside Shakespeare.* Boston & New York : Houghton Mifflin, 1997.

Grendler, P. F. et al. eds. 'Chronology' vol. I, *Encyclopedia of the Renaissance,* 6 vols. New York : Charles Scribner's Sons, 1991.

Harbage, A. *Annals of English Drama.975–1700.* London : Methuen, 1964..

Honigmann, E. A. J. *Shakespeare : the 'lost years.'* Manchester UP, 1985.

Pollard A.W. and G.R. Redgrave, eds. *A Short-Title Catalogue of Books Printed in England, Scotland, and Ireland and of English Books Printed Abroad 1475–1640.* Rev. W.A. Jackson and F.S. Ferguson, completed by Katharine F. Pantzer, 3 vols. (2nd ed. London : The Biographical Society, 1986).

Schoenbaum, Samuel. *William Shakespeare : A Documentary Life.* Oxford : Clarendon Press, 1975.

————. *William Shakespeare : A Compact Documentary Life.* Oxford : Clarendon Press, 1977.

Wing, Donald, ed. *A Short-Title Catalogue of Books Printed in England, Scotland, Ireland, Wales and British America and of English Books Printed in Other Cpuntries 1641–1700,* 3 vols. (2nd ed. New York : The Modern Language Association of America, 1988)

今井宏編「イギリス史2 近世」世界歴史大系, 山川出版社, 1990.

「英米文学辞典」研究社, 1985.

京大西洋史編纂会編「新編西洋史辞典」改訂増補版所収「年表」東京創元社, 1993.

「集英社 世界文学大事典」集英社, 1998.

野町二, 岡本通編「英米文学ハンドブック」開文社, 1987.

松村赳, 富田寅男編「英米史・世界史年表」「英米史辞典」所収, 研究社, 2000.

　（作成：荒井良雄, 大井邦雄, 川崎淳之助, 柴田稔彦, 野上勝彦）

|3

CD-ROM

The Arden Shakespeare on CD-ROM. Walton-on-Thames, Surrey : Thomas Nelson & Sons, 1997.

BBC Shakespeare on CD-ROM. London : Collins Educational, 1995–.

Editions and Adaptations of Shakespeare on CD-ROM. Cambridge.: Chadwyck-Healey, 1995.

English Verse Drama : The Full-Text Database. CD-ROM, Paris : Chadwyck-Healey, 1995.

Exploring Shakespeare. CD-ROM. Detroit : Gale, 1997.

MLA Intarnaional Bibliography on CD-ROM, 1963–.

The Norton Shakespeare Workshop on CD-ROM. Mark Rose. New York : Norton, 1997.

Shakespeare Database on CD-ROM. Ed. Joachim Neubaus. Hildeshiem, Olms.

Shakespeare's Theatre CD-ROM, Chicago : Clearvue/ eav.

Standard Deviants : Shakespeare Tragedies DVD. Chicago : Clearvue/eav.

The Time, Life and Works of Shakespeare CD-ROM. Chicago : Clearvuc/eav.

The World Shakespeare Bibliography on CD-ROM 1980–96. Ed. J.L. Hamer. Cambridge UP, 1999.

「CD-ROM Catalog 人文・社会科学 2000–2001」丸善, 2000.

「研究社　シェイクスピア辞典 CD-ROM」高橋康也他編. 研究社, 2002.

【付記】1997 年より 2000 年までの範囲で調べた CD-ROM は、それ以後、絶版になったり、検索不明のものが多いので、2002 年 8 月現在で確認できたものを掲載するにとどめた。CD-ROM を加えた章もある。今後 CD-ROM の数は増加していくことが予想される。

　　　　　　　　　　　　（作成：岩永弘人, 佐々木隆）

14
田中功『情報管理の基礎知識』（海文堂、2002 年 4 月）、p. 21.

「インターネットがまだ比較的に規制されていない世界的な規模の市場にアクセス可能であること、そ
れぞれのサイトが統一のとれた構成に欠けること、アドレスが頻繁に変更されること、行きあたりば
ったりで任意の規制しか受けていなし、既得的を必ずしも明らかにしていないことはインターネットが
提供してくれる情報の質や性格が、実は多様であるということを意味しているのである。」

15
日本シェイクスピア協会ホームページ　http://www.soc.nii.ac.jp

The International Shakespeare Association

Shakespeare and Renaissance sites

The Shakespeare Birthplace Trust

The On-Line Books Page

Shakespeare' s First Folio: Facsimiles/Texts

Shakespeare in Japan

Shakespeare in Japan

Die Deutshe Shakespeare-Gesellschaft

16
日本シェイクスピア協会ホームページ　http://www.soc.nii.ac.jp

Shakespeare Society of Japan

Tsubouchi Memorial Theatre Museum

Shakespeare and Noh

Performing Shakespeare in Japan

The Shakespeare Company Japan

Shakespeare Globe Centre of Japan

Shakespeare in Asia

Shakespeare research database

Grand Kabuki

RSC in Japan

The Bard of Avon

Matsuoka Kazuko homepage

Shakespeare Theatre

Shakespeare film database

Japan Society for Theatre Research